

分苑たより

なごみ

大本
名古屋分苑

分苑長

文月 月次祭挨拶

サルートン皆様こんにちは
暑い日差しの中、文月ふみづきの月次祭に大勢の方達に、ご参拝して頂き誠にありがとうございます。

十八日の金曜日までは、東海地方は大雨警報、避難勧告で大変な地区もありましたが、昨日からは、天候回復して一気に夏の猛暑となりました。

皆様に報告があります。

長年、名古屋分苑青年部としての部長の座が空白になっていましたが、九月より堀優太さんに青年部長として活躍して頂くことになりました。本部穴井青年部長には、八月十三日より開催されるシン少年祭で全国の青年部長に紹介して頂けるように既にお願ひしています。

分苑の皆様方も宜しくお願

いたします。

先月二十二日に教本二級認定講習会を開催いたしました。受講者の方が三名と聴教の方が三名、参加していただきました。

今年の生・准・宣伝使補の推薦で内定を受けた方々は全員に辞令が授与されます。

八月六日には、み手代ご下付が万祥殿で教主さまよりあります。

七月八日は「開祖さま杵島ごもり平和祈願百二十周年杵島冠島開き百二十五周年記念祭典」の遥拝祭に前日は亀岡に泊まり翌日バスで綾部に参拝いたしました。梅松苑白梅殿を会場に、現地の映像をテレビモニターを通じて遥拝させて頂きました。

一部をメールから印刷して後ろの掲示板に貼ってありますのでご覧ください。

前日には「杵島ごもりの神

事と現代」と題して記念講話が綾部から亀岡にもライブ配信され拝聴致しました。講話の内容は、お手元へ資料を配布いたします。

二十年前に金竜海に大和島を開墾してみろく橋を架け、玉水の泉をボーリングされ金竜海から和知川そして日本海全世界をめぐる世界の浄化を目指す仕組みになっています。

この後、前田特派より大本事件についての講話をして頂きます。

今年も、聖地では楽しく、熱気がある行事が待っています。名古屋分苑も瑞生大祭直心会バザーに出店されます。一人でも多くの方々が参拝されますように熱中症等注意をして頂きお過ごしください。本日の参拝誠にありがとうございます。

行事報告

●月始祭

七月五日（土）

参拝者 二十名

斎主 見田すみ子
祭員 國方 千愛
祭員 畠山 亜美
進行 五十川松子



●月次祭

七月二十日（日）

参拝者 三十八名

斎主 飯田 和彦
祭員 妹尾 正治
祭員 近藤 哲史
祭員 堀 健太郎
裏方 伊藤久仁男
典礼長 日比 達朗
伶人 飯田 直美
伶人 澤田 淳
伶人 佐古 美鈴
伶人 長谷川美枝

進行 畠山 茂
祭典後、前田特派による講話「大本事件について」を聴講した。



夏野菜

水分やカリウムが多く含まれている夏野菜（ナスやキュウリなど）を食べて熱中症予防に心がけましょう。



● 誠心会活動報告

七月二十七日(日曜日) 誠

心会は熱田神宮参拝を実施致しました。

酷暑日と言つても少しさわやかさを感じる午前十時、名鉄神宮前駅に集合、十時半に熱田神宮、第二鳥居でボランティアガイドさんと待ち合わせて、手水舎で清めた後、弘法大師手植えの大楠から順次案内をして頂きながら熱田神宮本殿へ到着しました。

まずは全員で天津祝詞奏上、「熱田の大神守りたまへ幸はへたまへ」「惟神靈幸倍ませ」とご神号奉称をして後、記念写真をガイドさんに撮って頂きました。たまたまガイドさんが大本を少し知っていて、

大本にも関心があるようで仲良くなり和気あいあいとした雰囲気、大本への質問も交えながら神苑案内をして頂きました。

戦争の空襲でお宮も燃えてしまった事や、ご神体の草薙の剣を戦火から守った事、GHQから逃れるため移動して

隠した事や、たまたま伊勢神宮の遷座祭があり、もらい受けた木材でお宮を再建できた事、旧参道の跡地と新参道の事などの歴史も教えて頂き、予定を三十分超えの十二時まで説明を頂きました。

くさなぎ広場にて宮きしめんで昼食後、きよめ茶寮でお抹茶を頂き、十三時過ぎに熱田神宮参拝を無事終了いたしました。

参加者五名

高嶋分苑長、瓜生秀明、小林清人、日比達朗、畠山茂 報告

本殿前で記念撮影



ガイドさんによる神苑案内



行事予定

八月十七日(日)

月次祭 午前十時半より

九月六日(土)

月始祭 午後一時半より

忍び草

分苑直属 村田ヒサ 毘女

享年 九十四歳

令和七年六月十七日 帰幽

謹んで哀悼の意を表します

じいじの道草雑話

【逆走】

特任宣伝使 妹尾 正治

高速道路での逆走のニュースが生々しい映像と共に流れた。

五十代の男性が、伊勢湾岸道飛島インター出口から侵入して一キロも逆走したが、警察車両の出勤で幸いにも事故には至らなかった。

人生の逆走も最近ニュースになっている。

首長の失言・パワハラ・セクハラが相次ぎ辞任の連鎖反応が起きているようだ。

名誉も地位も得た人が何故？前に進まずに逆走するのか、じいじには理解不能なことばかりである。

車の逆走は警察のお世話になり、首長の逆走は選挙管理委員会と無駄な税金捻出のお世話にならないといけない。

じいじも車の違反で三度警察のお世話になったが、誰にも迷惑はかけていない、むしろ罰金を納めてお国に貢献している。

たと思っている。

つい最近の違反は一旦停車違反である、T字路の停車線がずいぶん手前に引いてあつて、そこで止まっても何の安全確認も出来ない。

交差点の手前ではちゃんと停車したのに、お巡りさんが飛び出してきて『お父さん、停車線で一度止まってからゆっくり前に来て安全確認をして下さいね』と指導を受けた。

減点二と罰金七千円である、高速道の逆走は渋滞と人命危機まで引き起こしても、事故にならなかったら罰金は九千円で済むらしい。

何かがおかしい？一線を越えただけなのにじいじは七千円、首長さん達が超えた一線は一体どれくらいの罰金なんだろう。

税金から捻出された退職金を戴いて素知らぬ顔しているに違いない。

